



福祉に、アクションを

## 1. 前提

### 現在の参加メンバーの紹介



#### 野路 靖人 六感デザイン / ブランディングデザイナー

福井県の丸坊主・丸眼鏡のブランディングデザイナー。福井市のデザイン事務所。「ブランドに気づき、ブランドを築く。」をモットーとし、デザイン制作だけではなく課題発見から解決までをサポートし、コンセプトの見直しやネーミング、商品の企画アドバイスまで幅広く手掛ける。



#### 新山 直広 TSUGI / デザインディレクター

1985 年大阪府生まれ。京都精華大学デザイン学科建築分野卒業。2009 年福井県鯖江市に移住。応用芸術研究所を経て、鯖江市役所在職中の 2013 年に TSUGI を結成。以降、未来の産地を醸成する様々なプロジェクトを展開し、2015 年に法人化。デザイン・ものづくり・地域といった領域を横断しながら、地域や地場産業のブランディングを手がける。

## 1. 前提

### 本事業の目的

福井県障がい福祉課の事業として、「幸せ就労」を実現したい。

さらなる工賃の向上

自分らしい働き方の追求

### 幸せ就労の実現

賃金を向上させ、  
1人ひとりが働きの喜びを  
実感できる仕組みを作る。

## 2. 認識の共有

### 福祉業界の現状について

障がいを持つ人の数は、約937万人。

障がいを持つ人の数は、日本人口の約7.4%にあたります。

そのうち、就労支援施設に通う障がい者は34.2万人。

働く障がい者の給与は、現在15,000円/月。

就労者が最も多いB型就労支援施設の平均工賃は、月額平均15,000円。

障害者年金70,000円とあわせても、自立した生活は望めない。



障がいを持つ人は多い一方で、平均工賃が非常に低いという現状。

### 3. 課題

## 福祉業界における課題

### 工賃の伸び悩み

一度に大量生産することが難しく、これ以上工賃向上を求められても難しい。

### 事業所の意識停滞

製作しても販路が少なく、セルブシェアなども回数や場所に限界がある。

### 商品開発の限界

県内の小さい事業所等では質の高い製品開発ができず、発注にも耐えられない。



これらの問題を解決するには ...

### 福祉事業所の商品力強化

- 売れる商品を開発する
- 成功事例を確立し、ナレッジシェアへつなげる

### 民間企業 / 社会の認知改革

- 福祉への発注がインセンティブになるという認知改革
- 民間企業と福祉事業所との接点をつくる

### 販路開拓の仕組み構築

- マッチングの仕組みを確立する
- メディア露出等を通じて民間企業へのアプローチを行う



福祉事業所の商品力強化

## 商品開発

デザイナーと事業所が手を組み、既存商品のブラッシュアップを実施。成功事例を確立し、業界全体へ横展開する。後続として、企業とのコラボや、有志によるサークル・塾等への活動へ牽引する。

初年度：既存商品ブラッシュアップ

次年度以降：サークル・塾など

企業とのコラボ促進  
商品開発…など

事業所側の  
商品力強化

民間企業の  
認知拡大

マッチング

民間企業 / 社会の認知改革

## フェアのリデザイン

SELP フェアなど、消費者との接点をリデザインし、民間企業や一般消費者に対して、福祉へのイメージを転換させる訴求を行う。

次年度：SELP フェアのリデザイン

次年度以降：SELP 商談会の実施…など

販路開拓の仕組み構築

## WEB/カタログ制作

福祉情報をまとめる WEB・カタログを制作し、マッチングを促進。事業所紹介に加え、福祉の捉え方を変える情報などを提供し、意義あるメディアを構築する。

初年度：WEB/カタログを制作

次年度以降：インタビューなど

新たなコンテンツを追加

<https://fukution.com/>